

のぼりべつ～の～ゆ ♪

ジョン・マッケンロー

岩手県立高度技術専門学院の飯坂先生からリレーを受けました北海道の代永です。飯坂さんは学生時代のテニス部の先輩です。先輩は対外試合など負けなしで、プレーはマッケンローのように切れ味が鋭かったです。試合相手にだけでなく、審判にも。したがって、リレーも「有無を言わさず」です。

気がつけば…サーティーラブ

気がつけば、来月は30歳。私は学校を卒業後、東京都内のオーディオ製品工場で1年間お世話になった後、かねてから希望していました指導員になることができました。職場は実家から遠く離れ、北海道の室蘭（登別は隣り）です。当時は24歳でした。地理の面でも、仕事の面でも右も左もわからずに、まさに「右往左往」という毎日でありました。周りの先生方に恵まれて、何とか今までやってこれているなと思う次第です。

室蘭&登別は素敵な街です。この地に来てから6年目の今、自分は地元で根を下ろして生活しているんだと感じます。人と人とのつながりを感じます。サークルに入って、テニスを教えてもらったり、たまには教えたり、地元の企業の方とダブルスを組んで市民大会に参加したり。仕事関連でも、塗装の技能検定を一緒に受験した同年代の方と日常でもおつきあひするなかで、いろいろと有益なお話を教えてもらっています。

皆さま、ぜひ北海道に遊びにいらしてください。室蘭の絶景、登別温泉も最高です。海の幸なんかはカルチャーショックを受けるほど美味であります。

主役とともに

室蘭学院の学生は中学を卒業したばかりの子から、60歳前後までと年齢層が幅広く、最初の頃は年齢や社



会経験が上の方と接することについて、非常に大きなプレッシャーを感じていました。

最近わかってきたことは、自分の一挙手一投足が学生に影響を与えているということ、「段取り八分」と言われるように、事前の準備が大切だということです。ただ、それ以上に訓練が1つの物語としてハッピーエンドを迎えるには、学生さんが主役であるのだと痛感します。学生さん達が積極的に雰囲気盛り上げてくれていることに、つい最近気がつきました。自分1人では何1つ完成させることができないのだなと力不足を感じつつも、自分の仕事にやりがいを感じられるのはそのおかげです。

ラブラブ 新婚様

次のリレーは福井県福井産業技術専門学院 塗装技術科の佐々木先生です。学生時代の同級生で、沈着冷静、頭脳明晰、容姿端麗な新郎さんです。では、よろしくお願ひします。